

「道徳指導法」授業実践

人物を題材にした道徳授業の指導案作り（その2）

Guidance draft making of moral teaching with the person (part 2)

柴田育郎 (Ikuro SHIBATA)

承前

平成20年3月に改訂された学習指導要領が本年度から小学校で、また24年度からは中学校で完全実施となる。しかし「道徳」についてはすでに21年度の移行措置期間から先行実施されており、本年度で3年が経過したことになる。新学習指導要領でより重視された道徳教育がはたして学校現場でその趣旨通りに展開されているのかどうか、今のところ大きく変化しているとの情報はない。

前号（その1）では、「道徳指導法」の中盤までの授業の様子について述べた。今回はその後半のようすと、実際に学生たちが作成した「人物を題材にした道徳指導案」の実際までを記す。なお、（その1）をまとめた以降に同内容の集中講義を行ったので、その折の学生22名の記録も含めることにする。

1 指導案作成に向けて ー授業後半ー

この時点で、「人物を題材にした道徳指導案の作成」をレポート課題とすること、またそれを模擬授業で行う旨を話した。講義12回目と13回目でテキストに掲載されている指導案例（小学校3例、中学校3例）をもとに指導案の具体的な書き方、ポイントを示し、初めて挑戦する学生にもできるだけ抵抗なくかつ意欲的に作成できるように指導した。途中で年末・年始の休みを挟むので、人物に関する資料集めに心がけることも指示した。

講義	おもな授業内容
12～13	道徳の指導案の実際 指導案の様式と書く時のポイント

(1) 指導案例について

- ・ 今日紹介していただいた3つの資料はどれも心の中で「もしかしたら自分に関係あるかも」と思わせる内容でした。道徳で取り上げる資料は子供たちの年齢や日ごろの行動に合わせた資料が望ましいと思いました。
- ・ 今日読んだ資料は3つとも心に響きました。教壇に立った時にも取り上げたい。
- ・ 中学校時代、主人公の心情を読み取るよりも、それを言葉に表す方が難しかった。
- ・ 形の無いのが道徳で、指導案はそれに形を与えるものだと思った。
- ・ 生徒の反応まで予測するとは思っていませんでした。低学年ほど予想が難しい。
- ・ 先生といえば教室での授業が中心と思いがちですが、その授業のために陰で多くの時間を費やして準備しているのだなと思いました。
- ・ 身近な事から話題に入り、生徒を引き込むテクニックが必要な事が分かりました。

(2) 指導案作成にあたって

- ・ 道徳の指導案は自分で好きな人物を選ぶことができるので楽しみにしています。
- ・ 模擬授業につながるような分かりやすい指導案を作ろうと思います。
- ・ 子供の立場に立って考え、どうしたら印象付けられる授業にできるかを想像して準備をしたいと思いました。
- ・ 道徳の指導案は教師が自分の思うようにできる部分が多いので、やりがいがある。
- ・ 発問をして、返答がなかった時のことも考えないといけないと思いました。
- ・ 自分の主観が入って間違っ了解釈をした指導案を書いてしまいそうで不安です。
- ・ 「主題設定の理由」で教師の力量が分かるといわれて、文章力の無い私は不安です。
- ・ 「発問」は子供たちが考えるきっかけになればいいので難しくないものにしたい。
- ・ 道徳の授業を計画する上でいちばん難しそうだった事は、資料からとらえてほしい“ねらい”と“問い”とを一致させることです。

模擬授業前の第14回目は人物を題材にすることのねらいやメリットについて話した後、実際に指導案を書く作業とした。初めて指導案を書く学生も多いため、あらかじめ項目を記入したプリントを用意して、下書きとしてそのまま記入していけるようにした。ワープロ打ちに慣れていない者はそのままレポートとして出してもよいことにした。

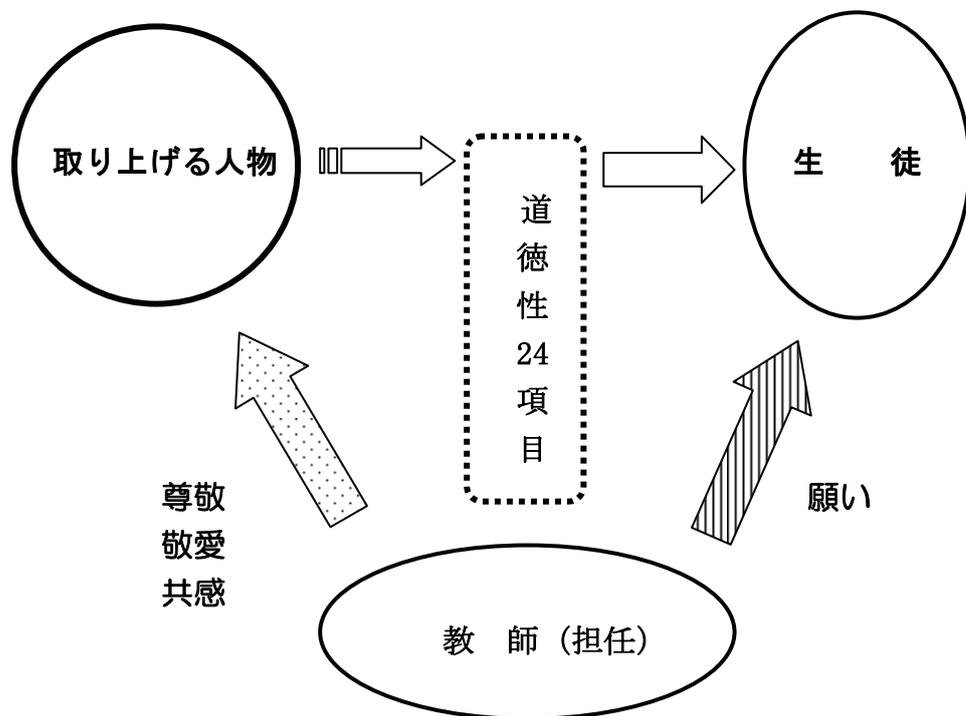
講義	おもな授業内容
14	指導案の作成

- ・ 指導案を書いていると授業の事とか考えて楽しくなってきます。でも大変。
- ・ 指導案を作っていると先生に一步近づけたような感じになるので頑張れます。
- ・ 「レポートの指導案作り大変だ」などと言っているけど、先生になったら当たり前の様にならなければいけない大切なことだ。
- ・ 取り上げる人物は決まりましたが、この話から学んでほしい事、メッセージをどれくらい子どもに伝えることができるのかを考えて作ると難しいなあと思いました。
- ・ 取り上げる人物を通して伝えたいことを明確にしておかないと、ただの人物紹介になってしまうので大変だと思いました。
- ・ 取り上げたい人物を決めて、それがどの項目に当てはまるか、もしくは教えたい項目にあった人物を探すか、それによってかなり作り方が変わってくると思いました。
- ・ 人に伝えることを前提に資料を作っていくと、人物について自分の勉強になります。
- ・ 人物を取り上げる過程において、私も人物から勇気づけられました。あらためて「道徳は授業者をも育てる」と実感しました。
- ・ 自分の発表も心配ですが、みんなの発表（授業）が楽しみです。

2 取り上げる人物

学生たちがどのような人物を取り上げるかは興味のあるところだが、人物を選定する際

に留意すべき点について、次のような説明をした。



- 〈取り上げる人物〉
- ・感動を覚える
 - ・生きる喜びを感じる
 - ・勇気を与える
 - ・よりよく生きる大切さを知る
 - ・人間の苦悩にふれられる
 - ・国、郷土に誇りや愛情がもてる

- 〈避けたい人物〉
- ・特定の政党・宗教に関わる
 - ・極端に偏った思想
 - ・犯罪者
 - ・一般的に受け入れられない
- (保護者・社会の目)

(1) 「修身教科書」で取り上げられていた人物

冒頭で述べた「修身」にはどのような人物が取り上げられていたのか。学生たちが取り上げた人物と比較するためにリストアップしてみた。

【修身教科書に登場する人物】 〈尋常小學校修身書（文部省）大正12年版復刻より〉

巻	取り上げられている人物（示されている徳目）
一	天皇陛下 木口小平（忠義）
二	天皇陛下 松平信綱（正直） 廣瀬武夫（忠義）（約束） 稲生ハル（祖先崇拜）

三	皇后陛下 谷村計介 (忠君愛国) 二宮金次郎 (孝行) (勤労) (勉学) 本居宣長 (整頓) 上杉鷹山 (師を尊敬) 春日局 (規則遵守) 松平好房 (行儀) 木村重成 (勇気) (堪忍) 毛利吉就の妻 (冷静沈着) 徳川光圀 (儉約) 鈴木今右衛門 (慈善) 永田佐吉 (謝恩) 貝原益軒 (寛大) (健康) 毛利元就 (共同) 相模の佐太郎 (公益) 木曾の孫兵衛 (動物愛護)
四	明治天皇 能久親王 豊臣秀吉 (立志) (天皇崇拜) 伊藤東涯 (他人の名誉) 渡邊 登 (孝行) (兄弟愛) (勉学) (規律) 高崎清風 (克己) 伴 信友 (身体) 高田善右衛門 (自立自営) ジェンナー (志) 丸山應挙 (仕事に励め) 瀧 鶴臺の妻 (習慣づくり) ナイチンゲール (博愛) ソクラテス (法令順守) 栗田定之丞 (公益)
五	神武天皇 楠 正成 (忠義) 古橋源六郎 (公益) 上杉鷹山 (儉約) 山城の義兵衛 (孝行) 伊藤小佐衛門 (兄弟愛) (進取の気象) 寧々 (謝恩) 伊予の作兵衛 (勤労) 勝 安芳 (勉学) (勇気) コロンブス (忍耐) 吉田松陰 (自信) 松陰の母 (主婦の務め) 新井白石 (朋友) 西郷隆盛 (度量) 加藤清正 (信義) (誠実) 中江藤樹 (徳行)
六 *	明治天皇 (国運の発展) 楠 正成・正行 (忠孝) 佐久間 勉 (沈勇) 高田屋嘉兵衛 (進取の気象) 井上でん (工夫) 栗林次兵衛 (共同) フランクリン (自立自営) (公益) 石井十次 (慈善) 乃木希典 (清廉) 林 子平 (良心) 伊能忠敬 (勤勉)

* 巻一～六は尋常小学1年生～6年生に対応している

どの巻も最初のページは天皇はじめ皇室関係で、巻四からは巻頭に教育勅語が載せられている。また巻六では教育勅語の解説があり、義務教育終了の締めくくりの体をなしている。確かにいずれの巻にも皇室崇拜、忠義・忠孝の内容が挿入されており当時の時代背景、情勢を感じさせる。しかし、こうした部分を除けばほとんどの内容は現在の道徳指導の内容項目と変わりなく、そのまま資料として使用できそうなものもある。

(2) 学生の取り上げた人物

受講生が最終的に指導案及び模擬授業で取り上げた人物は下記のものであった。

【人物を題材にした道徳指導案一覧】

平成23年1月作成

No.	取り上げた人物	内容項目	人	No.	取り上げた人物	内容項目	人
1	マザー・テレサ	思いやり	21	39	桑山紀彦	奉仕	1
2	杉原千畝	世界平和	10	40	小柴昌俊	理想実現	1
3	イチロー	向上心	9	41	坂本 達	個性伸長	1
4	乙武洋匡	生命尊重	7	42	舘野 泉	人間愛	1

5	ヘレン・ケラー	人間愛	6	43	柴田章吾	感謝	1
6	アンネ・フランク	生命尊重	5	44	石田 亮	強い意志	1
7	キング牧師	正義・公平	4	45	鈴木明子	強い意志	1
8	水谷 修	寛 容	3	46	井上美由紀	家族愛	1
9	植村花菜	家族愛	3	47	鳥浜とめ	生命尊重	1
10	アイン・シュタイン	世界平和	2	48	野口英世	愛国心	1
11	大平光代	希望・努力	2	49	野口 健	自然愛	1
12	坂本龍馬	人間愛	2	50	間 寛平	夢の実現	1
13	ナイチンゲール	奉 仕	2	51	マイケル・サンデル	正 義	1
14	がばいばあちゃん	感 謝	2	52	日野原重明	生命尊重	1
15	木藤亜也	生命尊重	1	53	平塚雷鳥	正義・公平	1
16	ネルソン・マンデラ	正義・公平	1	54	フーゴ・ラッサール	世界平和	1
17	エジソン	不撓不屈	1	55	有森裕子	向上心	1
18	相田みつを	感 謝	1	56	ベートーヴェン	真理愛	1
19	アンリ・デュナン	生命尊重	1	57	ホーキング青山	人間愛	1
20	クーデンホーフ光子	愛国心	1	58	ボブ・ウィーランド	強い意志	1
21	古今亭志ん生	個性伸長	1	59	鈴木その子	生命尊重	1
22	釈 迦	思いやり	1	60	J・Kローリング	思いやり	1
23	鬼塚鬼八郎	自主・自律	1	61	劉備玄德	正 義	1
24	椿姫彩奈	謙虚・寛容	1	62	宮越由貴奈	生命尊重	1
25	金子みすゞ	個性尊重	1	63	吉田松陰	努 力	1
26	金本知憲	強い意志	1	64	吉野 弘	思いやり	1
27	高橋尚子	理想実現	1	65	レーナ・マリア	個性伸長	1
28	国枝慎吾	強い意志	1	66	ロン・メイス	思いやり	1
29	クルム伊達公子	努 力	1	67	チェ・ゲバラ	正 義	1
30	幸村ケンシロウ	正 義	1	68	セバン・カリス・スズキ	自然愛	1
31	ジェイソン・マクエルウイン	個性伸長	1	69	スーザン・ボイル	個性伸長	1
32	渡部陽一	世界平和	1	70	腰塚勇人	人間愛	1
33	舘野 泉	人間愛	1	71	イ・スヒョン	思いやり	1
34	アシュリー	生きる喜び	1	72	鷺田清一	思いやり	1
35	本多宗一郎	夢の実現	1	73	斉藤佑樹	生活習慣	1
36	宮本延春	理想実現	1	74	北野 武	夢の実現	1
37	黒柳徹子	生命尊重	1	75	湯川英樹	向上心	1
38	ケネディ	正 義	1	76	石川 遼	努 力	1

当初に挙げた人物とは別の人物になった学生も多い。指導案化に当たっては生徒用の資料作成が必要であることや、何よりねらいとの合致が重要である。どのように展開していくかを勘案していくうちに変更したものと思われる。また他の学生と重ならないようなユニークなものにしようと挑戦した者もいる。資料入手はインターネットを利用した学生が多く、安易ではあるが便利な時代の恩恵でもある。現場の教師も利用しているはずである。「修身」の教科書の人物と比較してみると、どちらにも登場しているのはかろうじて吉田松陰一人である。しかし学生が題材にした人物はいずれも取り上げる価値・理由のある人物で、常識を外れていない。時を経ても名前が残っていくかどうか疑わしい人物もあるが、新鮮な人物を扱うことで子どもたちは興味をもつことだろう。

3 道徳学習指導案と模擬授業

提出された166の指導案のうち、半数以上の86部はこの時期の学生の作ったものとしては立派なものであった。生徒に示す資料もきちんとしており、人物とねらいに筋が通っていた。主題設定の理由も丁寧に記述されており、展開や発問にもそれなりに工夫が見られた。さらにこのうちの49部はそのままで現場の教員が使えるほど形式的にも内容的にも優れたものであった。その指導案の人物と主題は下記の様である。

【優れていた指導案の人物と主題名】

No.	取り上げた人物	主 題 名	内容項目	資 料
1	マザー・テレサ	マザー・テレサから学ぶ思いやりの心	思いやり	自作読み物
2	マザー・テレサ	マザー・テレサに学ぶ	思いやり	漫画・名言
3	マザー・テレサ	スラム街に生きる女性	正義・公平	自作年表
4	マザー・テレサ	差別をせず、親切に接する	思いやり	抜粋・写真
5	マザー・テレサ	本当の豊かさ	思いやり	語録・年表
6	マザー・テレサ	他人への思いやり	思いやり	本抜粋
7	杉原千畝	命のビザ	人間愛	語録等
8	杉原千畝	命のビザ	世界平和	自作・写真
9	杉原千畝	一步を踏み出す勇氣	感謝	年表・写真
10	杉原千畝	命の大切さ	生命尊重	自作読み物
11	杉原千畝	6千人の命を救った杉原千畝の生き方	生命尊重	記念館HP
12	乙武洋匡	心のバリアフリー	個性伸長	語録・ビデオ
13	乙武洋匡	みんなで一緒に一本気の仲間	友情	自作読み物
14	植村花菜	家族との関係を見なおす	家庭愛	歌詞
15	植村花菜	トイレの神様(2時間扱い)	家庭愛	歌詞・CD
16	大平光代	だから、あなたも生きぬいて	自主・自律	本抜粋
17	大平光代	極妻から弁護士、彼女をつき動かしたものは	向上心	自作プリント

18	レーナ・マリア	明るい歌手 ～レーナ・マリア～	生きる喜び	自作ﾌﾟﾘﾝﾄ
19	レーナ・マリア	障がい者レーナ・マリアの向上心に学ぶ	向上心	伝記・名言
20	椿 姫 彩 奈	性同一障害を知っていますか	謙虚・寛容	自作読み物
21	がばいばあちゃん	本当の優しさとは何だろう？	思いやり	自作ﾌﾟﾘﾝﾄ
22	佐 野 明 美	障害≠特別	思いやり	本抜粋・写真
23	セバン・スズキ	一人ひとりの力で世界を変えていこう	正義	本抜粋・映像
24	本 多 宗一郎	本多宗一郎 ～思うままに生きる～	夢の実現	英文資料訳
25	井上 美由紀	父母、祖父母に敬愛の念を深めて	家族愛	本抜粋
27	野 口 英 世	日本が世界に誇る医学者	愛国心	伝記
28	遠 藤 保 仁	わが道を行く	個性伸長	自作名言集
29	腰 塚 勇 人	生きる喜びを考える	生きる喜び	自作ﾌﾟﾘﾝﾄ
30	桑 山 紀 彦	人のために役立つ生き方	奉仕の精神	紹介文・絵
31	舘 野 泉	左手のピアニスト	生きる喜び	NHKBS 抜粋
32	城西大学 石田亮	箱根駅伝 涙のリベンジ	強い意志	新聞抜粋
33	鳥 浜 と め	特攻おばさん	生命尊重	ネット抜粋
34	平 塚 雷 鳥	性差別	正義・公平	自作ﾌﾟﾘﾝﾄ
35	有 森 裕 子	42.195Kmの道のり	向上心	本・新聞抜粋
36	ヘレン・ケラー	光と音の世界を失った少女	感謝	自作年表
37	ボブ・ウィーランド	ボブ・ウィーランドの挑戦	強い意志	自作ﾃｷｽﾄ
38	イチロー	イチロー・野球少年の夢	向上心	本人の作文
39	宮越 由貴奈	命の尊さ	生命尊重	自作ﾌﾟﾘﾝﾄ
40	吉 田 松 陰	目標をもって生活する	強い意志	松陰語録
41	野 口 健	環境を守ることの大切さ	自然愛	本・ネット
42	アンネ・フランク	アンネフランクが残したもの	世界平和	日記抜粋
43	古今亭志ん生	落語家に学ぶ本当の個性	個性伸長	写真・映像
44	釈 迦	釈迦の教えから生き方を学ぶ	思いやり	本・ネット
45	J・K ローリング	ハリーポッターが世界に与えた影響	思いやり	本・写真
46	ガンジー	大いなる魂と呼ばれたガンジー	国際理解	写真・読み物
47	チェ・ゲバラ	チェ・ゲバラの正義と信念	正義	漫画・ネット
48	劉 備 玄 徳	何故一国の君主となりえたか	正義	漫画・ネット
49	宮 本 延 春	オール1の落ちこぼれ	理想実現	自作読み物

このうち、取り上げた学生が最も多かったマザー・テレサの指導案を1点示す。ほぼ提出されたままで、手を加えていない。添付された生徒配布用資料は紙面の都合で省略する。

【マザー・テレサ】 教育学科1年 男子

1年3組 道徳学習指導案

指導者 永田 光輝

- 1 日時 平成23年1月20日(木) 第1校時 825教室
- 2 主題名 「マザー・テレサに学ぼう」～貧しい人のために生涯をささげた聖女～
- 3 ねらい

マザー・テレサの生き方や考え方を学び、中学に入学した今、もう一度自己を見直し、人としての温かさ、相手を思いやる気持ちを身に付け、今後の生活や人生に生かしていく。

4 資料

- ・『マザー・テレサ～貧しい人のために生涯をささげた聖女～』（集英社版 2000年）
- ・インターネット（名言集）<http://www.earth-words.net/human/mother-teresa.html>
- ・インターネット（マザー・テレサの言葉）<http://www.fruits.jp/~k-style/teresa1.html>
- ・「歴史を作った人々の伝記 マザー・テレサ」（株式会社 ポプラ社 2009年）

5 主題設定の理由

主題観

私自身が中学生の時にマザー・テレサの本を読んで衝撃を受け、すごく感動したのをよく覚えている。マザー・テレサは神を信じ、人のために一生を捧げ、他人を自分のことのように大切にし、ノーベル平和賞を受賞した偉大な人物である。そんなマザー・テレサの生き方、考え方を生徒たちに伝え、命の大切さ、思いやりの気持ちなどを身に付けさせる。それと同時に、自分自身が考える理想の人間像を生徒たちに確立させ、今後の生活・人生に繋げさせたいと考えた。

生徒観

最近の日常生活を見ていると、自分のことだけを考えて行動している生徒たちが増えてきたと感じることがよくある。例えば、自分の席の周りにゴミが落ちていても、自分が出したものでなかったら拾わないなどといった光景をよく目にする。さらに先月、赤い羽根募金の活動が学校全体で行われていたが、募金額が非常に少なく、全くといってよい程生徒たちは無関心であった。マザー・テレサについて学ぶことで、生徒たちがもう一度自分自身を見直すことができるよいきっかけとなる。（自分の中学校時代から想起）

指導観

生徒たちが、どのくらいマザー・テレサについて知っているか確認し、マザー・テレサがどのような人物であったのかを、本・プリントなどを使い確認させる。マザー・テレサが誕生してから修道女になるまでの流れを把握させる。また、その際、どのような困難や苦労があったのかも学習し、そうした経験をしたマザー・テレサが語った数々の名言なども紹介する。さらに、その言葉について、どう思ったかなど一人ひとり自分の日常生活に置き換えて考えさせ、追求していく。マザー・テレサについて学び、自分が考える理想の人間像を確立させる。

6 指導展開

程	学 習 活 動	発問と予想される生徒の反応	留意点 ○指導■援助
導 入 十 分	①今回の道徳の授業での目的を理解する ②マザー・テレサについて知っていることを挙手して発表する(グループで話し合う) ③配布されたテレサの漫画を各自で読む	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">マザー・テレサはどんな人物だったのでしょうか</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーベル平和賞を受賞 ・貧しい人たちのために働いた(修道女) ・スラムの聖女 ・死を待つ人の家 ・孤児の家 ・平和の村を作った ・神に一生を捧げた 	○指導案のねらいにも書いたように、今回の授業の目的を生徒に理解させる ○マザー・テレサについて生徒が出した意見を黒板にまとめる ■ 事前に用意したマザー・テレサの物語(漫画)を生徒に配布する
展 開 三 十 分	④物語(漫画)を読んだ感想を発表する ⑤マザー・テレサの経歴を本や学習プリントなどで学習する ⑥なぜマザー・テレサは人のために一生を捧げようと思ったのか。その理由を考える ⑦語った数々の名言を学習する ⑧その中で特に印象に残った言葉や感じたことを発表する	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">物語を読んだ感想は</div> <ul style="list-style-type: none"> ・本当に心のきれいな人だと思う ・人のためにあれほど親身になれるなんて驚いた <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">テレサはなぜ人のために一生を捧げようと思ったのか</div> <ul style="list-style-type: none"> ・よく協会に通っていて聖フランシスコに関心をもった <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">名言についてどう思ったか</div> <ul style="list-style-type: none"> ・マザー・テレサの言葉には人の心を動かす何かがあると感じた 	■ 重視したい要点を生徒から引き出す (例)この場面に関してはどう思う?などといったように生徒を導く ○イエス様の愛の教えを伝えていきたいと思うようになったから、と板書にまとめる ○名言(言葉)を分析して分かり易く説明する ■ 名言の資料を生徒に配り、より分かりやすくする
終 末 十 分	⑨マザー・テレサの教えを踏まえて自分自身はどんな人間になりたいかまとめる	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">今後、どのようなことを心がけていきますか</div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に足りないところ 	■ 学習プリントを配布 ○まとめながら、自分と向き合うことの大切さを理解させる

7 評価

マザー・テレサという人物を理解できたか。そして、自分自身を見つめ直し、何が足りないのか自覚し、理想の人間像を自分なりに確立し、今後に生かそうとしているか。

模擬授業は講義最終の第15回に行った。学生を5～6名ずつ12～13のグループを作り、一人10分間で交互に教師役と生徒役を入れ替わって行った。全グループ同時進行である。10分間であるので授業の導入部分と資料提示あたりまでしかできない。10分では中心発問までに至ることができず中途半端であるが、短時間でも全員に経験させることを主眼にした。しかし実際には10分間でも時間をもてあまして立ち往生している学生や、早々と言う事だけを言い終わって座ってしまう学生も少なくなかった。経験の少なさもあるが、実は道徳の授業はうまく展開していく技術が無いと10分で終わってしまうのである。そこが難しいといわれる所以である。ともあれ良い経験になったのではないか。

模擬授業とこれまでの講義の感想を書いた受講カードの内容を下記に示す。

〈模擬授業を体験して〉

- ・ 模擬授業はとても勉強になりました。自分の思いを伝える難しさを感じました。先生という職業は大変ですね。しかし、自分が話したことによって生徒が変われるきっかけをもてたらそれほど嬉しいことはないと思いました。
- ・ とても緊張しました。5人の前で緊張していたのでは実際の授業ではどうなってしまうんだろうと思いました。今回の模擬授業はとてもよい経験になりました。
- ・ 実際に模擬授業をしてみて色々学ぶ事がありました。ひとのを見て、いいなと思う所も数多くありました。指導案を作るのは大変だったけど達成感がありました。
- ・ 道徳を指導することがこんなに難しい事だったとは、とても困りました。だけど、教えていると楽しく、子供(役)と会話できるのがとても嬉しかった。
- ・ 今日は上手くできるか不安だったのですが、初めてだから上手にやる必要はなく、一生懸命やれば伝わるのだと信じて、何とか自分なりにやりました。子供役の子がよいらクションをしてくれたのでやりやすかったです。
- ・ 指導案作りだけでなく相手のある授業をすることで、どういう事に気を付けたらよいか身をもって知ることができました。

〈この講義を受講して〉

- ・ 道徳という科目については今まで考えたことも無かったのですが、この科目を通して人生が変わったりする人もいて、面白い科目だとあらためて思いました。この授業で“心を育てる”ことの大切さを知って、もっともっと道徳の授業を活発にさせてほしいと思いました。少し不安でしたがこの授業で自信ができました。
- ・ 小・中学校のころはなぜ道徳という授業があるのだろうと思った事もありましたが、教師を目指そうとこの授業を受講したことにより、子供の成長には道徳という授業は重要で欠かせないということがよく分かりました。
- ・ 道徳は思っている以上に深いものでした。もし教師になれば、たいへんだけ大切にしていきたい。この授業はその時にすごく役に立つものでした。
- ・ テキストや先生の話から人として本当に大切な事や道徳の根本的な意味を学びました。教職の講義をとって良かったと思うと同時に教師志望が一段と強まりました。

「道徳教育についての知識・理解が深まり、指導する意欲が高まりましたか」

たいへん	十分	ほぼ	あまり	まったく
92人	48人	8人	1人	0人

おわりに

大学での授業は1年目で、しかも当初予定されていなかった「道徳指導法」を担当することになり、毎回手探りで授業を進めてきた。私は長く小・中学校に勤務し、道徳の授業も十分経験してきたし、他人の授業もたくさん見てきた。だが、論文途中に挟んだ拙稿にも書いたように、必ずしも道徳授業の積極的な実践者ではなかった。

しかしこの授業を進めて行くうちに、今更ながらその重要性や面白さに気づくようになってきた。学生の感想と同じである。それはほかでもなく学生たちが教えてくれた。毎回の受講カードを読んでいると、極めて反応がよく、私が話したこと以上に吸収してくれる。内容が道徳に関わるだけに、心が洗われるような感想ばかりであった。

学生たちのほとんどは1年生で、4年前まで中学校に在籍していた子たちである。授業を受けながら担任の先生のこと、仲間のこと、学校生活のことを思い出していたに違いない。その思い出を教員として指導する立場、側面から眺めた時、それまで不可解に固まっていたものが溶けるように、また絡んでいた糸が次々とほぐれるような思いで理解していったのではないか。授業の後半の受講カードに次のような感想があり、あらためて道徳教育の大切さ、教職科目としてのこの講義の重要性を再確認した。

道徳資料の「銀色のシャープペンシル」を読んで、自分が中学校の時のことを思い出しました。この話と似た体験ではないのですが、中3の時、クラスも部活も一緒に、周りの子たちから少し嫌われていた子がいました。私はその子のことを嫌いではなかったけど、周りに合わせて悪口を言ったり、少しきつい言葉でからかったりしていました。

しかし、中3の終り頃の道徳の授業をきっかけにその子に直接謝りました。次の日に担任の先生が前日にその子がデイリーライフ（毎日提出する短い日記）に書いた内容を教えてくれました。何回も消した跡があり、私が謝ったことが書かれていたそうです。

これを聞いて、私は謝ってよかったと思ったし、とてもすっきりしました。その時から自分に正直に、周りに流されないように生きようと今でも努力しています。生徒に道徳を教える上で自分の実体験を話せば心を開いてくれる子もいると思います。大学での授業と実体験をかさね合わせて心を開かせ、道徳性を身につけさせる技術をたくさん学びたいです。

〈2011.1.4 受講カードより 交流文化学科 S〉

【参考文献】

- 広岡義之編著『新しい道徳教育－理論と実践－』 2009年 ミネルヴァ書房
 貝塚 茂樹著『道徳教育の教科書』 2010年 学術出版会
 尋常小学校教科書復刻版シリーズ『修身書』（文部省著作） 社会科学研究所